

▶執筆 人権教育課 (市役所内線 4012)

子どもたちが教えてくれた、大切なこと

私が以前勤めていた小学校のいじめ防止基本方針には、「さまざまな個性を持つ子どもたちが存在するから学校は生き生きとしている」と記されていました。

教室には、人前で話すのが得意な子もいれば、じっくり考えてから言葉にする子もいます。また、友達と一緒に過ごすことが好きな子もいれば、一人の時間を大切にしている子もいます。一人一人違いはありますが、どの子にもそれぞれの良さがあります。

こうした違いが肯定的に認められると、子どもたちは安心して自分らしく過ごすことができます。しかし、違いが受け入れられない雰囲気の中では、自分の思いを言葉にすることが難しくなってしまうこともあります。だからこそ学校では、一人一人の感じ方や考え方を大切に、心穏やかに伸び伸び過ごせる環境づくりが欠かせないものとなります。



学校では、子どもたちのさまざまな姿を目にします。友達が失敗して落ち込んでいるときに、何も言わずにそっと寄り添う子もいれば、自分とは違う考えに「そういう考えもあるね」と受け止め、耳を傾ける子もいます。こうした日常から、子どもたちは共に思いやることを自然に学んでいるのではないのでしょうか。

私たち大人の社会にも、さまざまな考え方や生き方を持つ人がいます。教室での子どもたちの姿は、違いを認め合い、支え合いながら生きていくことの大切さを大人にも教えてくれているように思います。誰もが「このままの自分がいい」と感じることができ、生き生きと暮らせる社会をみんなで作っていききたいものです。



ふるさとの魅力再発見ーにしわき歴史探訪

▼問合せ 郷土資料館 (☎23-5992)



秋谷池 (南東から)



近年まで残っていた素掘りのトンネル



黒田庄町喜多にあるフォルクスガーデンの北に位置する秋谷池は、天神森とよばれていた喜多天満宮周辺に水を引くために造られたため池です。天神森まで用水路を通すには、標高の高い城山に長さ約100メートルの隧道(トンネル)を掘る必要があります。工事を引き受けた技術者、原田熊太郎の呼びかけで、喜多村に住む6人が加わり、明治44年に作業が始まりました。軟質の土で崩落の可能性が高い難工事でしたが、大正2年に秋谷池とトンネル、用水路が完成し、天神森は水田に生まれ変わりました。現在、トンネルは素掘りのものから改修されましたが、秋谷池は今も天神森の水田に水を送り続けています。

市長からの手紙

ー西脇を元気に!!ー

149



高市早苗内閣総理大臣(左)を訪れ、要望活動を行い、播州ラーメンもPR

5月、道路整備促進期成同盟会全国協議会の全国大会と要望活動のため、上京しました。全国から千人を超える自治体の首長が集まり、各地域の実情を伝えながら、道路整備の必要性を訴えました。要望活動では、高市総理にお会いする機会をいただき、地方の暮らしや産業を支える道路整備の大切さを伝えることができました。一連の活動を通して、道路は人や物の流れを生み、産業や暮らしを支える、

全国に届ける、西脇の魅力

また、中東情勢に伴う重油価格の高騰が地場産業に及ぼす深刻な状況について、関係団体の皆さまとともに、兵庫県出身の山田経済産業副大臣にお会いし、支援をお願いしました。現場の切実な声を国に直接伝える貴重な機会となりました。

また、中東情勢に伴う重油価格の高騰が地場産業に及ぼす深刻な状況について、関係団体の皆さまとともに、兵庫県出身の山田経済産業副大臣にお会いし、支援をお願いしました。現場の切実な声を国に直接伝える貴重な機会となりました。



西脇市長 片山 象三

あわせて、企業版ふるさと納税で本市を応援いただいた企業を訪問し、感謝をお伝えするとともに、引き続きのご支援をお願いしました。この制度は、市外に本社を置く企業を対象ですが、本市とゆかりのある企業から多くのご寄付をいただいております。今後、西脇市の魅力や取組を全国に発信していただくことが大切です。こうしたつながりを大切にしながら、私自身が先頭に立って発信を続けていきたいと思っております。市民の皆さまとともに、元気な西脇市を築いてまいります。

みんなでまちづくりー市民の皆さんのまちづくり活動ー

新しいことにチャレンジしませんか

～重春・野村地区交流推進委員会の紹介～

重春・野村地区交流推進委員会は、コミュニティセンター重春・野村地区会館(クローバープラザ)を拠点に、住民自らが交流の輪を広げ、「明るく心のふれあうまちづくり」を推進するため、さまざまな活動を行っています。茶道教室や着付け教室などの文化講座や健康・スポーツ講座、子ども向けの絵画教室や音楽教室を開催する「mirai eの学校」は住民同士の学びや交流の場となっており、楽しみながら参加していただけます。

また、6月21日(日)午後1時30分から「みんなでヨガの日」を開催します。健康と交流を目的に、屋外で自然の雰囲気を味わいながらヨガ体験を楽しんでいただけます。事前申し込みや参加料は不要です。友人やご家族をお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。



西脇の自然 627

シロスジカミキリ

かみきりむし科



体長は5～6センチの日本最大級のカミキリムシで、名前の由来は、生きているときに黄色っぽい背中の筋模様、死ぬと白く変わることからきています。

幼虫はコナラやクリ、カシなどの生木を食べるため害虫とされていますが、産卵の際に樹皮を傷つけた部分や、成虫が羽化して出てくる穴から樹液が染み出ることがあります。この樹液は、カブトムシなどの昆虫にとって大切な餌となっています。

5月頃から野外で活動しますが、夜行性なので日中に見かけることはほとんどなく、市内の雑木林で夜に時折見かけます。

写真は、深夜に産卵後休んでいる雌に雄が交尾しようとして近づいている場面で、またとない好機と思い、撮影しました。

【西脇市動植物生態調査研究グループ】